

# 令和7年度 学校評価報告書

|     |        |
|-----|--------|
| 学校名 | 松が丘小学校 |
|-----|--------|

## 1 学校教育目標

|   |
|---|
| 夢にむかって共に生きる児童の育成<br>～学びあい たすけあい きたえあう子～ |
|---|

## 2 今年度の学校重点目標

|  |
|--|
| 1 急激に変化する時代の中で生きる子どもたちに確かな学力と必要な学力をつける。<br>2 自尊感情を育み、お互いの違いを認め合い、共に高め合う仲間集団をつくる。<br>3 地域や家庭と連携し、信頼される特色ある学校づくりを推進する。 |
|--|

## 3 総合的な自己評価

|  |
|--|
| 児童・保護者アンケートからはおおむね肯定的な評価が得られ、安心してのびのびと学校生活を送っていることがうかがえる。学年が上がるにつれ、自尊感情の高まりや規範意識の高まりをより感じることができている。しかし、保護者アンケートでは回答数が少ないことが課題としてあげられる。今後はより多くの家庭に回答してもらえるような対策を行っていききたい。 |
|--|

## 4 総合的な学校関係者評価

|  |
|--|
| 学校運営協議会でのビデオや毎月の学校だよりで子どもたちが生き生きと学校で学習している様子がよく理解できる。児童の ICT を上手に活用したプレゼン資料作成には驚愕した。企業で必要とされるプレゼン力を小学校から学習する現代教育に感心している。評価アンケートの結果及び分析もよくまとまっていた。引き続き、学校教育目標実現に向け取り組んでほしい。 |
|--|

## 5 評価結果

| 自己評価          |  |   |  | 学校関係者評価  |
|---------------|--|---|--|--|
| 分野・領域         | 評価項目(取組内容)                                     | 評価結果及び分析  | 改善の方策  | 学校関係者評価委員会の意見  |
| 教育課程          | 松が丘小学校を誇りにし、自分が育つ地域を大切に教育の推進                   | 「地域が好きである」とする肯定的評価が保護者 88.3%(7%↓)(※わからないが 9%)となり、児童 93%となった。                                      | 地域の方の仕事や思いに触れ、郷土愛を育むカリキュラムを推進する。新企画「松が丘のまち探検」や「まちフェス」を地域とともに作りあげ、対話を通して地域の魅力を再発見する。学校と地域が一体となり、子どもたちが主体的に社会へ参画し、自分たちの手で地域を盛り上げる喜びと誇りを実感できる教育活動を展開する。 | 地域が好きと感じてくれる児童が多くうれしく感じる。「まちフェス」の成果を起点に学校も一体となり、まちづくり協議会や自治会とともに、児童と一緒に参加できる活動を企画してほしい。                      |
|               | 言語活動の充実と豊かに表現する力の向上                            | 「自分の考えを相手に伝えることができる」の肯定的評価が児童 84%、保護者 74%であった。また、「進んで読書に取り組んでいる」の肯定的評価は児童が 76%、保護者が 44%(6%↓)であった。 | 自分・ペア・みんなタイムを定着させ、主体的な学びを深める。朝の読書や家族読書の日を継続し、図書館司書とも連携を図る。次年度は電子図書の活用も開始し、デジタルと紙の両面から本に親しむ環境を整備。多様な読書体験を通し、豊かな感性と知的好奇心を育てていく。                        | タブレットを用いて学習した成果をプレゼンで発表することは素晴らしいと感じる一方で辞書の利点に触れる機会を楽しんでほしい。また、電子図書を有効的に活用しながら読書の良さや楽しさに気づいてほしい。             |
| 生徒指導          | 自尊感情の伸長、自他の生命の尊重、公共の精神の育成                      | 「学校のきまりをまもっている」の肯定的評価が児童 90%(3%↑)、保護者 92%(3%↓)であった。   | 学年による差が大きいところもあるが、全体的には、学校のきまりを意識して生活しようと心掛けられているのではないかと感じる。来年度も重点的に意識させたいことを週目標にすることで、引き続き意識させていく。  | 肯定評価 90%以上というのが嬉しい。始業時刻を守るなど、ほとんどの児童が学校のきまりを意識して生活できている。   |
|               | 一人ひとりを大切に、仲間づくりを進める人権教育、「学校いじめ防止基本方針」に基づく取組の推進 | 「友達や自分のいいところを見つけられることができる」の肯定的評価では、児童 78%保護者 86%であった。校内独自の「心のアンケート」を取り入れ、いじめを見逃さないようにしていった。       | 今年度掲げた「ありのまま」「ありがとう」「なんとかなる」「やってみよう！」の4重点を来年度も継続する。1年生への温かいメッセージや地域への感謝の言葉など、児童は着実にウェルビーイングを体現し始めている。自分らしく、主体的に挑戦する姿を支え、心豊かな成長を促していく。                | 昨年度からの「よつぼっくり」の取組を継続しながら助け合い、友だちの良いところに気づける取り組みができている。他人を認めることで自分も律する事ができ、お互いを認め合って助け合える。この取り組みは、今後も継続してほしい。 |
| 県 修           | 子どもが主体的に学び、確かな学力を身につける「わかる」「できる」授業づくり          | 「学校の勉強はわかりやすい」の肯定的評価は児童 91%、保護者 75%であった。  | 個別最適な学びを行っていくために、高学年では社会科において自由進度学習を取り入れた。ICT をうまく活用しながら、児童一人ひとりの学びの力を丁寧に見取り、支援していく。   | 自由進度学習によりノートまとめの力も伸び、グループでの交流の中で互いの学びを深めることができている。   |
|               | 校内研究の推進と授業改善                                   | 本校の研究テーマに基づいて研究実践と授業改善に取り組むことができている。  | 来年度も社会科を中心に研修を計画し、研究時間を十分に確保して内容の深化を図る。県の表彰を受けたことは教職員や子どもたちの大きな励みとなった。この喜びを糧に、組織的な研究を行い、授業改善と指導力向上を積み重ねることで、学校全体の教育の質を高めていく                          | 授業の中で、時事問題へ関係づける教師の発言によってニュース等に興味を持つ児童が増えていると感じた。また、県からの表彰は、児童の自信につながった。                                     |
| 保護者・地域住民等との連携 | 学校支援ボランティアを活用し、地域と連携した教育活動の推進                  | 地域の素材・人材を学習に取り入れていることについて、保護者の肯定的評価が 95%であった。   | 学校ボランティアの輪をさらに広げていく。ミシンや給食、そろばんの学習など、地域の方の支えで子どもたちの学びが充実した。教育課程に、ボランティアの参画を計画的に位置付け、地域とともに子どもを育てる環境を作る。また学校の様子を積極的に情報発信していく。                         | 地域には、様々な特技をお持ちの人材がおられるので、児童と触れ合う中で地域の方々の生きがいの創出にもつながると思うので積極的に PR したい。                                       |
|               | 地域と連携した安全・安心な学校・校区づくり                          | 学校は子どもたちの安全管理や事故防止に努めているについて、保護者の肯定的評価が 95%であった。  | 今年度は三田市と連携し防災訓練を実施した。まちづくり協議会等と連携し「地域防犯ネット」「見守り活動」「地域防災活動」といった活動を継続していく。   | 市と連携した防災訓練は、よかった。地域防犯、見守り活動もより効果的に実施する方法を計画していくことが大切である。   |

## 6 学校自己評価の実施状況について

| 時 期      | 内 容                                    |
|----------|--|
| 7月11日(金) | アンケートによる校内中間評価(児童項目)                   |
| 8月26日(火) | 校内中間評価の結果分析(学校改革委員会・職員会議)              |
| 12月2日(火) | アンケートによる評価(児童17項目・保護者23項目・職員43項目)      |
| 1月19日(月) | 各評価の結果分析(学校改革委員会・各担当)                  |
| 2月9日(月)  | 各評価について改善策提案(職員会議)<br>次年度の方向性の提案(職員会議) |

## 7 学校関係者評価委員会の活動について

| 時 期       | 内 容  |
|-----------|--|
| 5月15日(木)  | 学校関係者評価委員の趣旨説明、今年度の学校概要(教育目標、重点目標 学校及び児童の状況等)学校関係者評価について |
| 5月24日(土)  | 運動会参観  |
| 9月8日(月)   | オープンスクール参観   |
| 10月16日(木) | 学校評価中間評価、運動会・音楽会について                                     |
| 10月25日(土) | 音楽会参観  |
| 2月19日(木)  | 各委員に資料を送付。今年度学校評価についての意見集約                               |

## 8 学校評価の公表について

| 時 期      | 手 段      | 内 容                                      | 添付 |
|----------|----------|--|----|
| 2月2日(月)  | 学校だより    | 職員・学校関係者評価の結果を受け、成果と課題、来年度に向けての方向性を発信する。 | ○  |
| 3月19日(木) | 学校ホームページ | 学校評価(自己評価及び学校関係者評価)の結果及び今後の改善策を記載        |    |

